



通信第二弾

書：横山蒼風

暑中お見舞い申し上げます。学校に子供たちの元気な姿が戻ってきました。つくづく子供たちは日本の未来を背負う宝物だと思います。徐々に日本全体が回復してきましたが、まだ予断は許しません。

新潟県長岡市は、二度その町を焼失しました。一度目は幕末越後長岡藩の時代、当時官軍との最大の激戦であった戊辰戦争の時に、長岡城を焼失しています。率いたのは最後の武士と言われた家老・河井継之助であり、司馬遼太郎氏の小説「峰」に詳しいです。財政が窮乏した長岡藩を救つたのは藩主小林虎三郎でした。三根山藩から贈られた百俵の米を藩士に分け与えず完却し学校を設立しました。「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と諭し、政策を断行しました。二度目は、海軍連合艦隊司令官山本五十六を生んだ故郷として、昭和二十年八月一日、B29大型爆撃機が来襲し、市街地を爆撃、旧市街地の八割が焼土と化しました。

暑中お見舞い申し上げます。
夏季休業 8月8日(土)～16日(日)
より祈念しております。

令和二年七月吉日



代表取締役社長

清水伸

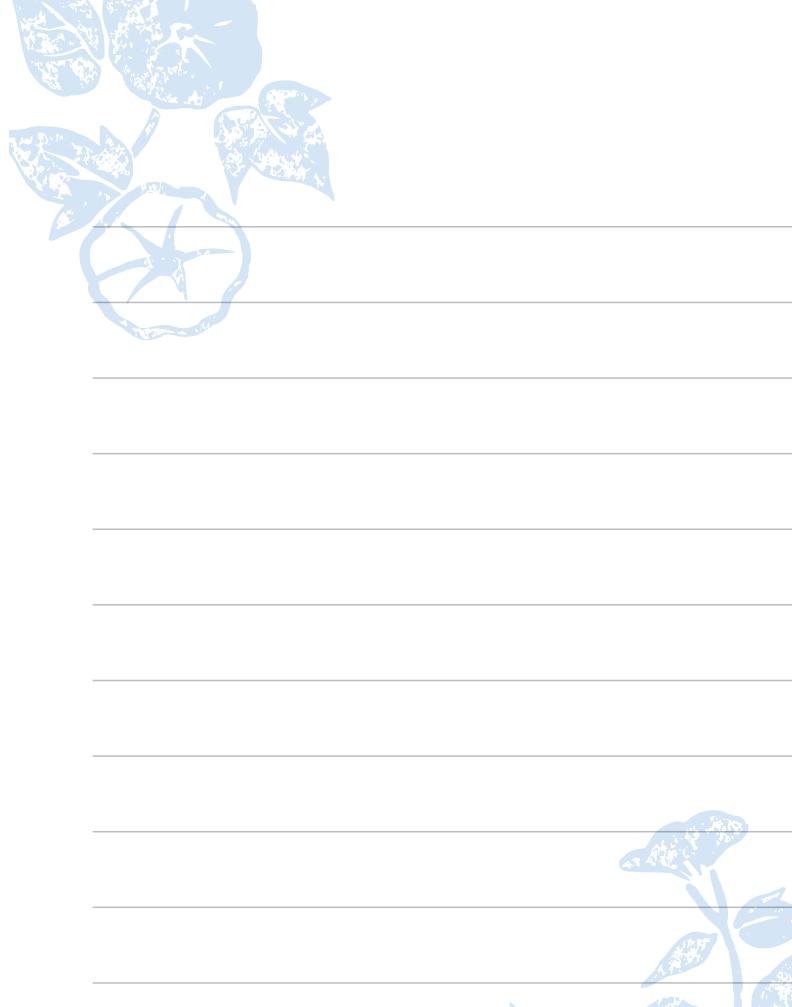
復興のシンボル 長岡花火

暑中お見舞い申し上げます。学校に子供たちの元気な姿が戻ってきました。つくづく子供たちは日本の未来を背負う宝物だと思います。徐々に日本全体が回復してきましたが、まだ予断は許しません。

新潟県長岡市は、二度その町を焼失しました。一度目は幕末越後長岡藩の時代、当時官軍との最大の激戦であった戊辰戦争の時に、長岡城を焼失しています。率いたのは最後の武士と言われた家老・河井継之助であり、司馬遼太郎氏の小説「峰」に詳しいです。財政が窮乏した長岡藩を救つたのは藩主小林虎三郎でした。三根山藩から贈られた百俵の米を藩士に分け与えず完却し学校を設立しました。「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と諭し、政策を断行しました。二度目は、海軍連合艦隊司令官山本五十六を生んだ故郷として、昭和二十年八月一日、B29大型爆撃機が来襲し、市街地を爆撃、旧市街地の八割が焼土と化しました。

壊滅的な戦火を受けた長岡市は不撓不屈の精神で街の復興に臨み、見事に今に甦っています。作品

ギャラリーで紹介する写真は空襲で亡くなつた方々の慰靈、復興に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いを込めて始まつた長岡花火、いつも勇壮なシーンが取り上げられます。今回ご紹介する写真は街中に溶け込んだ何気ない日常のシーンを切り取った写真です。長岡花火は今年、新型コロナウィルス感染の拡大防止のため中止と聞いておりますが、誌上で花火をお楽しみください。



暑中お見舞い申し上げます
夏季休業 8月8日(土)～16日(日)

博進堂



□本社・工場
〒950-0807
新潟市東区木工新町378-2
TEL.025-274-7755
FAX.025-274-7679

□本社営業
□東北支社
□札幌営業所
□C&A営業
□アートメール係

●事業内容
学校アルバム・記念誌・写真集・学校案内
自費出版・各種アルバム・PR誌・社内報
CI・会社案内・社史・カタログ・パンフレット・ポスター
まちづくり計画・問題解決学・教育セミナー
ワークショップ・問題解決学・教育セミナー
ホームページ作成・デジタルサポート・システム開発
お気軽にお相談下さい。

株式会社博進堂
<https://www.hakushindo.jp>
Art Factory & Printing Art.
School Album Produce,
Communication Design.



我ら打ち上げられた花火だから
かしこの天へ走せつけよ
う
弾^{はじ}けて鳴つて轟いて
かしこの闇とたたかおう

ただまっしぐらに
かしこの天へ走せつけよう

二好達治



かんばろう！

